

数 学 科

数学科の目指す生徒像

- 数学に対する関心・意欲をもち、数学を学ぶことのよさや楽しさを実感できる生徒
- 答えだけではなく、答えを導く手だてを考えて表現できる生徒
- 自分なりの考えをもち、他者の考え方と共有することができる生徒

授業評価における課題

- 自分の考えをまとめたり発表したりする場面が少なく、思考力・表現力の育成が図れていない。
- 発言や質問を積極的にする生徒が少なく、生徒の学習意欲の向上を図る必要がある。

学力調査における課題

- 「数学的な見方や考え方」の達成度が他の観点に比べて低く、思考力・表現力の育成を図る必要がある。
- 到達度の高い生徒とそうでない生徒に分布が分かかれ、学力に個人差が広がっている。

言語活動における課題

- 定理の証明や論証など、自分の考えを筋道立てて述べる力を育成することが必要である。

＜本校で検討した言語活動例＞

数学的な表現を用いて自分なりに説明し、答えを導くまでの過程を明らかにする活動

改善策 ①

基礎的・基本的な内容を確実に定着させるため、単元導入時に反復演習を取り入れた授業を行うとともに、発言や質問がしやすい雰囲気をつくる。



改善策 ②

思考力・表現力を育成するための課題を授業に取り入れ、自分なりに見通しをもって考えたりまとめたりする学習活動を行う。



改善策 ③

生徒同士による教え合いや学び合いの場面を計画的に設定したり、考えたことをよりよいものに改めたりする言語活動を充実させる。



～ 研 究 の 成 果 ～

- 学習内容や目標を明確にすることにより、意欲的に学習する生徒が増えた。
- 思考力・表現力を育成するための課題を取り入れたことにより、自分の考えをまとめることができたようになった。
- 授業中の生徒同士による教え合いや学び合いの場面を増やしたことで、言語活動を充実させることができ、学習に対する喜びを喚起することができた。